

ご挨拶

平素より、石垣海上保安部の業務に格別なご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

石垣海上保安部は、昭和47年5月、沖縄の日本への復帰に伴い開設され、この度開設50周年を迎えることができましたが、この間、地元八重山の皆様の深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜りながら、24時間、365日、尖閣諸島を含む八重山諸島の美しい海の治安と安全を守り続けてきました。

発足当時、当保安部の勢力は、わずか130総トンの小型巡視船1隻のみでしたが、当保安部の業務に対する社会のニーズの増加により、順次勢力の拡充を図り、現在では6,500総トンのヘリコプター搭載型巡視船を筆頭とした大型巡視船14隻をはじめ、巡視船艇等18隻の勢力(職員数は約690人)となりました。

現在、当保安部は、厳しい状況が続いている尖閣領海警備の最前線基地として、我が国の領土・領海を断固守り抜くとの方針のもと、現場においては、中国海警局所属船や外国漁船等に対し、法にのっとり如何なる事態にも冷静かつ毅然と対処しつつ、その機能を果たしております。

当保安部職員は、皆、かかる重要で困難を伴う業務に、「自ら直接従事したい」との熱意と固い意思を持って全国から馳せ参じ、日々の業務に、積極的に取り組んでおります。

また、八重山諸島周辺海域において、東南アジア地域からの銃器・薬物密輸入事犯取締り、地元経済を支える漁船の安全操業確保、マリレジャーの安全確保、航行船舶への安全指導、更に、台風接近時の安全対策、災害救助等、当保安部に課せられたあらゆる任務に的確に対処すべく、日頃から即応体制を維持しております。

今後とも、石垣海上保安部職員一同、このかけがえのない八重山諸島の豊かで美しい海の治安と安全を守り抜くため、海上保安庁発足時からのモットーである「正義・仁愛」の精神を胸に、一致団結して対処して参る所存であります。

引き続き、石垣海上保安部の業務にご理解とご支援、ご協力の程、御願い致します。



令和4年5月

第29代 石垣海上保安部長

中 田 光 昭